

まちづくりマーケティング

第1回 2016年10月6日



- 地域マネジメントコース必修科目
 - 本村先生、舛田先生、森田先生、今西先生のゼミ生は必ず履修しないと卒業できません

友人・知人で履修していない学生がいたら 履修するようアナウンスして下さい。

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

₩ 受講者心得

- 無断遅刻·無断早退禁止
- 私語禁止
- その他講義の妨げとなる行為は禁止

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri Universit

NU 学習ではない

- この講義は、知識の習得ではなく、課題 に対して創造的な発想による解決策を考 えます。
- ・学ぶのではなく、解決するという姿勢で臨 み、固定観念のとらわれず、自由な発想 で参加してください。

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

BU テキスト

必要に応じて資料を配付します。

参考図書

- 榎並 利博「地域イノベーション成功の本質」、第一法規、2013 寺谷 篤志 ほか「地方創生」から「地域経営」へ」、仕事と暮らし の研究所、2015
- 橋本 行史 編著「地方創生の理論と実践 -地域活性化システム 論-」、創生社、2015
- デービット・アトキンソン「イギリス人アナリスト国宝を守る」、講 談社+α新書、2014
- 木下 斉「稼ぐまちが地方を変える--誰も言わなかった10の鉄 則」、NHK出版新書 460、2015

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri Universit

講義の目的

- 1. 地域が抱える問題を自ら発見
- 2. 問題を解決するために、創造性を発揮
- 3. データとロジックに基づいた科学的論理思考する人材を 育成
- 4. 大分をはじめとする、地域を牽引する人材へ成長

1,2,3 社会調査法の内容

本科目は、身近な地域での問題から、まだ見ぬ解決方法を 考えます。

本具体的には、シナリオ作成から分析手法までをイメージし た調査の基礎を学ぶとともに、まちづくりマーケティングのモ デル構築を紹介します。 © Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

80 地域マネジメントコース

地域マネジメントコースでは、 地域が抱える問題を自ら発見し、 問題を解決するために、 創造性を発揮し、 データとロジックに基づいた科学的論理思考す る イノベーション人材を育成し、 大分をはじめとする、地域を牽引する人材へ成 長させること

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

New 講義概要

これまで地域で行われてきた実際の施策をもとに、 地域で行うまちづくりや観光都市・エリアとしての観光まち づくりにどのような観点が必要で、どのような施策が効果的 かを議論します。

そこで得られた知見を、まちづくりマーケティング演習(3年 次開講科目)を通じで実践していくことを目指します。



成績評価基準

O成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価 方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意教・藤皮】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。		5点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	20点	5点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チーム で働く力」「前に踏み出す力」を含む。	20点	5点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。	20点	5点	5点	

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

定期試験

講義内容について、記述式の試験を実施します。
 テキスト、自筆ノート、配付資料は持ち込み可とし、
 試験時間は80分です。
 ・計算問題あり



講義形式ではあるが、都度、習得に必要な質問したか、講義時間外に習得のための努力をしているかなど20点満点で評価する。

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University



まちづくりとは何か

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

⁸⁰ まちとは

まち

人が集まり 生活をし、 経済活動を行う場



11

13

まちの状況を正しく知ろう!⇒ 社会調査法

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

課題を洗い出す

Department of Business and Economics, hool of Business and Economics, Nippon Bunri University



「まち」を正しく知る ⇒客観的事実に基づく データ エビデンス(客観的事実)

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

データを正しくみる

同じデータを使っているのに 自分の主張にあうように勝手に解釈をかえる。

数字があたかも正しいように思える。

例)2015年11月16日大分合同新聞朝刊8面 来館者数が50万人突破 県立美術館「想定外の早さ」 モダン百花繚乱『大分世界美術館』」25万人 進撃の巨人展:非公表 鑑賞者数: 全来館者数の半分

進撃の巨人展の鑑賞者数は〇人?



商店街になぜ人が訪れないのか?

10

12

14

- 企業 利益=収入一費用 収入を増やすためにいろいろな 需要喚起を行う コスト削減
- まちは? 個々の商店が利益を出す お客の奪い合い? 利益を出す必要がない? 自然とお客さんが来ていた時代がある。

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

講義資料について

NBU

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

17

19

講義資料は、ウェブ上にあります。学内のパソコンから のみアクセスすることができます。

- 1. Googleなどで「今西 NBU」と検索する。
- 2. http://www.nbu.ac.jp/~imanishimm/
- をみつけて、そのページを開く。
- お気に入りに登録しておく。
 講義資料以外は、スマホなどから閲覧できます。

© Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University 第5回大分都心部消費者回遊行動調査

日時:2016年10月29日(土)-30日(日) 場所:大分市中心商店街

18

時間:10:30---19:00